

苫小牧東部地域開発検討会（第1回）

議事概要

日 時：平成30年8月21日（火）13：30 ～ 15：30

場 所：経済産業省別館11階1111共用会議室

出席者

（委員）有村委員、神田委員、杉本委員、高野委員、田村委員、山本委員
（オブザーバー）北海道経済連合会地域政策グループ 清水部長、
北海道経済部 野村産業振興局長、
苫小牧市産業経済部 桜田次長、
（株）日本政策投資銀行北海道支店 内田業務第二課長
（株）苫東 望月代表取締役専務
（事務局）国土交通省北海道局 後藤審議官（北海道局長代理）、
高橋参事官、八木企画調整官

議 事

- （1）苫小牧東部地域開発の経緯について
- （2）苫小牧東部開発新計画の進め方について【第2期】のフォローアップ
- （3）次回会議の進め方について

議事概要

○座長には田村亨委員、座長代理には有村幹治委員が選任された。

○事務局から苫小牧東部地域開発の経緯、「苫小牧東部開発新計画の進め方について【第2期】」期間における苫東地域開発の進捗状況を説明後、各委員から意見を聞いた。

○委員からの主な意見

- ・外資系企業も視野に入れた産業の誘致に取り組むべき。そのためにはプレーヤーを意識することが必要ではないか。
- ・自動走行技術の開発は、積雪寒冷地に対応した実証試験施設の誘致とともに、運転手の高齢化対策やまちづくりの観点から公道等での実証実験を誘致してはどうか。
- ・北海道には農産物の優れた加工技術を有している企業が多いので、産地との連携を図る場として苫東地域を活用するのがよいのでは。
- ・苫東地域は資源依存型の産業立地に優位性があり、農水産物の特定成分を健康

- ・ 食品・医療品に活用する事業に成長が見込まれるのではないか。
 - ・ 100%再生可能エネルギーでものづくりを行うチームを作るなど、苫東地域から発信する仕掛けが必要ではないか。
 - ・ 人材確保のため、情報化・省力化に対応する人材の育成と人材を集めるためのアメニティの整備、両面での取組が必要ではないか。
- 次回検討会は、本日の議論を踏まえ、進めるべき産業・プロジェクトとその展開方策など、次期の段階的な開発の方向性について検討することとされた。